

活動報告書

<p>団体名</p>	<p>なわて音楽プロジェクト</p>
<p>事業名</p>	<p>なわて音楽プロジェクト体験型キッズコンサート</p>
<p>事業実績の概要 (月日、参加者数等)</p>	<p>5月2日 四條畷市役所での学校長会議で応募要領(5月12日〆切)を伝えた。 5月中旬 四條畷南小、忍ヶ丘小の2校を訪問先として決定し、訪問日を10月31日に、幼稚園・保育園対象の演奏会を11月13日に決定。 10月31日 四條畷南小(191名)、忍ヶ丘小(450名)にてJルークスシンガーズによる演奏会実施。 11月13日 市民ホールにて、幼稚園・保育園対象の吹奏楽演奏会を実施。演奏：四條畷学園高校吹奏楽部、田原台ひまわりこども園(37名)、なわてすみれ園(49名)、畷アサヒヶ丘保育園(36名)が参加。</p>
<p>事業の効果</p>	<p>小学校での訪問演奏会については日頃児童たちが使う体育館という場所でプロ合唱団による本格的合唱を披露することにより、PAによる拡声を通さなくても響く人間の声の力を伝えることに成功したと考える。また、市民ホールでの幼稚園・保育園対象の演奏会では、ホールという空間とそこでの吹奏楽の響きの魅力を園児たちに伝えることができたと考える。 また、それぞれの機会でご家庭に演奏会チラシを配布することができ、また演奏会ののちには、年末に開催したNMPのイベントへの招待企画も案内できたことで、NMPの存在をある程度知ってもらうことができた。</p>
<p>参加者からの声</p>	<p>園児、児童たちからのアンケートなどは実施が難しいため、当日の子供達の反応を通して間接的に反響を推測するしかないが、少なくとも会場は盛り上がりを見せつつ、聞きどころでは音楽を傾聴するという雰囲気も両立できていた。 また、学校長や担当教員からは非常に喜ばしい機会であったとの言葉をいただくことができた。</p>
<p>今後の課題点、改善点等</p>	<p>NMPでは従来から未就学児童の演奏会への入場を原則的に認め、さらに中学生以下は入場料無料の方針で実施してきている。そのような演奏会の存在をそれぞれの家庭に知ってもらうための一手段がこの助成を受けての訪問演奏会、小隊演奏会の実施であるが、参加対象となった園や小学校以外の市下の学校等への広報のあり方をさらに高める工夫をしていきたい。 可能であれば演奏会の実施の前に、代表者が各校を訪問して分かりやすい事前解説なども実施して、演奏鑑賞の効果を高めることも考えたい。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>このようなイベントの機会を通じて、体験した児童の保護者の方をNMPで実施する演奏会へ招待するという試みを一度だけ試験施行した。この経験を活かして、そのような機会を増やすことにより、NMPでのイベントへ広報効果が高められるとの期待がある。</p>
<p>事業の自立に向けた計画</p>	<p>現時点では演奏者の出演料などの8割程度が助成金に依存している。助成事業の実施により「呼水効果」を起こし、NMPとしての収益を増やし、その還元先として学校訪問演奏会の継続に繋げるべく広報活動の充実を図る。さらに既に実施している「応援箱」制度に「目的指定型」のものを用意して低年齢層向けの無料演奏会実施への経済的基盤を形成していく。</p>